

芸能公演 & ミニレクチャー

# バリ島の音楽と 歌芝居にふれよう

このイベントは  
東京外国語大学 建学  
150周年記念  
タイアップイベントです



パンデミックを経てバリ島でブレイクした、伝統音楽ガムランの新展開「声ガムラン」をお届けします。

バリ島から芸能家チアットさんを迎え、彼が考案した新しい芸能「声ガムラン(gamut)」を紹介します。伝統的な打楽器アンサンブルであるガムランを一人の声で表現するこの芸能は、COVID-19パンデミック下のバリでチアットさんの自宅から発信され、注目を集めました。今回は、声ガムランの解説とデモンストレーション、そしてバリの音楽と歌芝居を上演する日本人グループ・マメタンガンとの共演による歌芝居をご覧ください。  
伝統芸能 × エンターテインメント × コンテンポラリーをお楽しみください！

2023  
12/3 (日)

開場 15:00  
開演 15:30  
(17時半 終演予定)

東京外国語大学 府中キャンパス  
プロメテウス・ホール(アゴラ・グローバル内)  
入場無料(要申し込み)\*

\* 事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。  
定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。詳細・お申し込みはこちらから →  
<https://anthropology.aa-ken.jp/activity/event/bali-music.html>



出演：チアット (Ciaaattt)、マメタンガン、東京外国語大学インドネシア舞踊部、吉田ゆか子(東京外国語大学)

関連ワークショップ① 〈人類学カフェ〉バリ島のケチャと声ガムランを体験しよう！

11月25日(土) 10:30～12:00 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所にて

関連ワークショップ② 〈人類学カフェ〉バリ島のケチャを体験しよう！

12月1日(金) 17:45～19:15 東京外国語大学附属図書館にて

※関連のミニ展示を附属図書館で開催中(期間 11/13～12/8)

[共催]  
アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究人類学「社会性の人類学的探究：トランスカルチャー状況と寛容／不寛容の機序」  
TUFIS フィールドサイエンスコモンズ(TUFISCo)  
JSPS 学術知共創プログラム「身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現」(代表：床呂郁哉)  
JSPS 科学研究費基盤B「『コロナ状況』下で育まれる芸能一危機への応答・身体性をめぐる交渉・社会との関係」(代表：吉田ゆか子)  
AA 研共同利用・共同研究課題「新型コロナウイルス感染拡大下における芸能に関する学際的研究(jrp000274)」(代表：吉田ゆか子[AA 研])

ILCAA  
Research Institute for  
Languages and Cultures of  
Asia and Africa

ILCAA  
Anthropology

150  
建学150周年  
記念事業  
科研費  
KAKENHI